

Poemas cierre a 20 años de flamenco  
ロスピンチョス ラストステージ



〈カンテ・唄〉 Manuel de la Malena 〈ギター〉 斎藤誠 〈バイレ・踊り〉 大沼由紀 佐藤浩希

2019

4/20

土

1部開演 18:00  
2部開演 20:00

ロスピンチョス 福岡市博多区綱場町6-9 ☎ 092-262-7789

1部 open 17:30 start 18:00  
2部 open 19:30 start 20:00

各部 4,500円 (別途1ドリンク代 500円)  
通し 8,500円 (別途2ドリンク代 1,000円)

予約開始 2/2 (土) 正午 12:00~ /

ご予約・お問合せ  
ロスピンチョスフラメンコライブ受付  
lospinchos.4.20@gmail.com

フラメンコファンの皆様、20年間ありがとうございました。

1999年に開店してから20年、6月24日から21年目に入り、このライブをもちましてタブラオとしての営業は終了し、料理店として新たにスタートしたいと思います。

数年前からこの想いが自分の中で起き始めました。その間この場で行われる数々の素晴らしいフラメンコに出会うたびに、この想いをおさえながら・・・の繰り返し。

フラメンコが好きでフラメンコのあるスペイン料理店を作ろう！と始めたので、この決断をするのが難しく、6年かかりました。

この想いを皆様に伝えるなか、1年くらい前に今回出演の大沼由紀さんから理解あるメールを頂き感動しました。

人一倍厳しい？で有名な由紀さんですが、その何倍もの優しさを返してくれて、踊り手として、人としても大好きで尊敬しています。

「ロスピンチョスのステージが無くなる前に最後に由紀さん踊りに来てくれんかなあ・・・」の想いが叶い大変嬉しく思っています。

2019年4月20日にこのステージで行われるフラメンコライブが最後になります。

私自身この瞬間をしっかり心に刻み、これまで20年間、この場でのアーティストたちとの出会い、心が震えるほど感動させてくれた素晴らしいフラメンコの思い出を宝物に、さびしい想いをさしてしまうフラメンコファンの皆様に料理でお返し出来るようにと思っていますので、これからもよろしくお願ひします。

Los Pinchos 相良尚登

「一番好きなタブラオ」と公言して止まないロスピンチョスがフラメンコライブを辞めると聞いて、なんとしても相良さんに会わねばと思った。相良さんの口からその理由を聞きたくった。相良さんの真摯な話に、一つのことに賭けて生きる者同士、ますます相良さんに惚れた。踊りも料理もアルテだ。お互いいい歳になった。アルテ一筋に人生を賭けようじゃないか。

もう17年ほど前になるだろうか。依英三さんに連れられて、その当時すでにフラメンコ仲間の間では噂になっていたロスピンチョスの舞台に、初めて立たせていただいた。ぐっと凝縮した空気が時間を追うごとに濃くなっていき、圧が生まれた。フラメンコには最高のコンディションだ。あの独特の空気は、相良さんの厳しいアフィシオンによって生まれたものに違いない。そしてなんと！最後はきんちゃんと相良さんのセビジャーナスとブレリアにもう、ぶっ飛んだ。そこいらのプロより（失礼！）上手いじゃないか！いや、上手いというのではなく、美味い！その驚きは、2007年のプレーニャコンサート（中野ゼロ大ホール）への出演依頼となった。二人は事前エンサージョが1回のみ、あとは本番という厳しい条件にもかかわらず、幕開けのブレリアで見事に1000人のお客様を唸らせた。

各地でクルシージョをやって来たが、福岡のフラメンコレベルは相当高い。ロスピンチョスがここのフラメンコ達を牽引して来たのではないか。数々のフラメンコライブに触れ、相良さんの率直な感想（時に相当辛口な！）を聞き、目と耳を肥やしてきた福岡の皆さんは幸せ者だ。

覚悟を決め、雑念を消し集中すること。相手を感じ阿吽のコミュニケーションを図ること。これらがフラメンコだとすれば、ロスピンチョスでフラメンコライブが見られなくても、相良さん自身がムイフラメンコなのだ。フラメンコ好きが心から愛するロスピンチョス、これからはお料理で最高の「オーレ！」を私達に言わせ続けるに違いない。

大沼由紀